

令和7年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価書

1 施設の概要

施設名称	高越弓道場	指定管理者	高越弓道会
施設所在地	吉野川市山川町榎谷226番地2	施設所管課	生涯学習課
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	選定方法	公募・非公募
指定管理者の主な業務	弓道場の施設及び設備の維持管理に関する業務 弓道場の利用許可に関する業務 利用料金の収受に関する業務 その他弓道場の管理に関し教育委員会が必要と認める業務		
利用料金制の導入	有・無	自主事業	有・無

2 施設の利用状況等

項目（利用人数、苦情件数等）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数等	572人	758人	1,019人	883人
苦情・要望等件数	0件	0件	0件	0件

3 収支状況

収支【指定管理業務】			
計画額		収支実績額	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
【収入】		【収入】	
指定管理委託料	213,888	指定管理委託料	213,888
施設使用料	15,000	施設使用料	18,400
雑収入	5,112	雑収入	7,236
合計	234,000	合計	239,524
【支出】		【支出】	
維持費	69,000	維持費	92,057
事務費	165,000	事務費	171,935
その他経費	0	その他経費	
合計	234,000	合計	263,992
損益	0	損益	-24,468

収支【自主事業】			
計画額		収支実績額	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
【収入】		【収入】	
		自主事業収入	
合計	0	合計	0
【支出】		【支出】	
合計	0	合計	0
損益	0	損益	0

4 利用者アンケート等

実施時期	実施なし
調査方法	
調査結果	
意見要望・苦情等の内容	

5 指定管理者及び市（施設所管課）による評価

項目	評価項目	指定管理者自己評価	市施設所管課評価
平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。正当な理由なく、一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか。	A	A
事業実施状況	事業計画書に基づき、適切に事業が実行されているか。	A	A
広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	B	B
管理運営方針	市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解した管理運営はされていたか。	A	A
施設・設備の保守管理	仕様書等に基づき、清掃、警備、衛生の点検・管理が適切に行われているか。	A	A
	利用に支障をきたすような状況を放置せず、適切に修繕が行われているか。	A	A
再委託業務	再委託されている業務の範囲・理由等は適切であり、かつ委託先の業務を適切に管理しているか。	A	A
備品等の管理	備品等を適切に管理され、その機能が失われていないか。	A	A
持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。	A	A
職員体制・人員配置	職員体制、人員配置、労働環境は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。	A	A
職員の労働条件	労働基準法の労働関係法令を遵守されているか。	B	B
職員研修等	職員研修や業務指導に関し、適切に実施されているか。	B	B
法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	A	A
利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケート等が適切に実施されており、要望・苦情等に適切に対応しているか。	B	B
連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。	A	A
職員の待遇等	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	A	A
苦情・要望の把握・対応	要望・苦情等に適切に対応しているか。（記録簿整備を含む。）また、重要な事案は、市に報告しているか。	A	A
地域との連携	地域の住民や関係団体等との連携に積極的に取り組んでいるか。	A	A
地域貢献	市内業者の活用、市民の雇用など地域への貢献への配慮がされているか。	A	A
危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故や災害等の緊急時のマニュアルが整備され、連絡体制が確立しているか。	B	B
	利用者の安全確保に対する研修・訓練等を実施し、職員が内容を熟知しているか。	A	A
	施設・警備等の防犯体制は適切であるか。	A	A
個人情報及び秘密の保護	個人情報及び職員が業務上知り得た秘密について、職員への指導の徹底と対策が講じられていたか。	A	A
帳簿管理・経理	経理帳簿や台帳を整備し、適切に経理事務が行われているか。	A	A
事務処理等	業務日誌、各種報告書を適切に作成・整備し、遅延なく市に提出されているか。	B	B

6 指定管理者による自己評価（コメント）

令和7年度の自己評価	専門施設として有効活用するため、利用者のニーズに沿った受け入れを行った。施設の点検を定期的に行い、利用者の安全性向上に努めた。
今後の目標	市内外の弓道愛好家等を受け入れるため、施設の維持管理に務める。弓道の普及活動を並行して行い、利用者の増加を図る。

7 市（施設所管課）による総合評価（コメント）

専門施設としての特性を活かし、伝統武道の継承と普及に大いに貢献している。老朽化に伴う施設の修繕等も継続的に行っていく必要がある。	総合評価
	A